

※赤色は、最も高い数値

「問1(2) 介護・介助の必要」に関する保健福祉ブロック別クロス集計表

居住学区（7保健福祉ブロック）	合計	問1(2) 介護・介助が必要か				(参考) 65歳以上に 占める75歳 以上の割合 (%)
		介護・介助 は必要ない	何らかの介 護・介助は 必要だが、 現在は受け ていない	現在、何ら かの介護を 受けている	不明・無回 答	
全体	2101 100.0	1775 84.5	161 7.7	118 5.6	47 2.2	51.9%
志賀ブロック	177 100.0	153 86.4	9 5.1	11 6.2	4 2.3	52.5%
北部ブロック	336 100.0	285 84.8	25 7.4	20 6.0	6 1.8	46.2%
中北部ブロック	265 100.0	220 83.0	24 9.1	16 6.0	5 1.9	54.2%
中部ブロック	315 100.0	268 85.1	30 9.5	15 4.8	2 0.6	53.5%
中南部ブロック	348 100.0	303 87.1	28 8.0	12 3.4	5 1.4	54.6%
南部ブロック	255 100.0	220 86.3	18 7.1	12 4.7	5 2.0	51.5%
東部ブロック	357 100.0	299 83.8	23 6.4	31 8.7	4 1.1	50.6%
わからない	8 100.0	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	

上：実数、下：割合 (%)

「閉じこもり傾向」に関する性別×家族構成別クロス集計表

性別	家族構成	合計	閉じこもり傾向		
			リスクあり	非該当	不明・無回答
全体	全体	2101 100.0	357 17.0	1712 81.5	32 1.5
	1人暮らし	343 100.0	76 22.2	263 76.7	4 1.2
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	1023 100.0	156 15.2	851 83.2	16 1.6
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	96 100.0	12 12.5	82 85.4	2 2.1
	息子・娘との2世帯	293 100.0	53 18.1	234 79.9	6 2.0
	その他	320 100.0	54 16.9	263 82.2	3 0.9
	男	全体	934 100.0	147 15.7	766 82.0
1人暮らし		103 100.0	24 23.3	78 75.7	1 1.0
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）		498 100.0	75 15.1	411 82.5	12 2.4
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）		77 100.0	7 9.1	68 88.3	2 2.6
息子・娘との2世帯		117 100.0	16 13.7	96 82.1	5 4.3
その他		136 100.0	23 16.9	112 82.4	1 0.7
女		全体	1116 100.0	198 17.7	908 81.4
	1人暮らし	235 100.0	50 21.3	182 77.4	3 1.3
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	508 100.0	77 15.2	427 84.1	4 0.8
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	18 100.0	5 27.8	13 72.2	0 0.0
	息子・娘との2世帯	169 100.0	34 20.1	134 79.3	1 0.6
	その他	181 100.0	31 17.1	148 81.8	2 1.1
	答え た く な い	全体	6 100.0	2 33.3	4 66.7
1人暮らし		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）		3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
息子・娘との2世帯		2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
その他		1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0

上：実数、下：割合 (%)

(2) 介護の状況

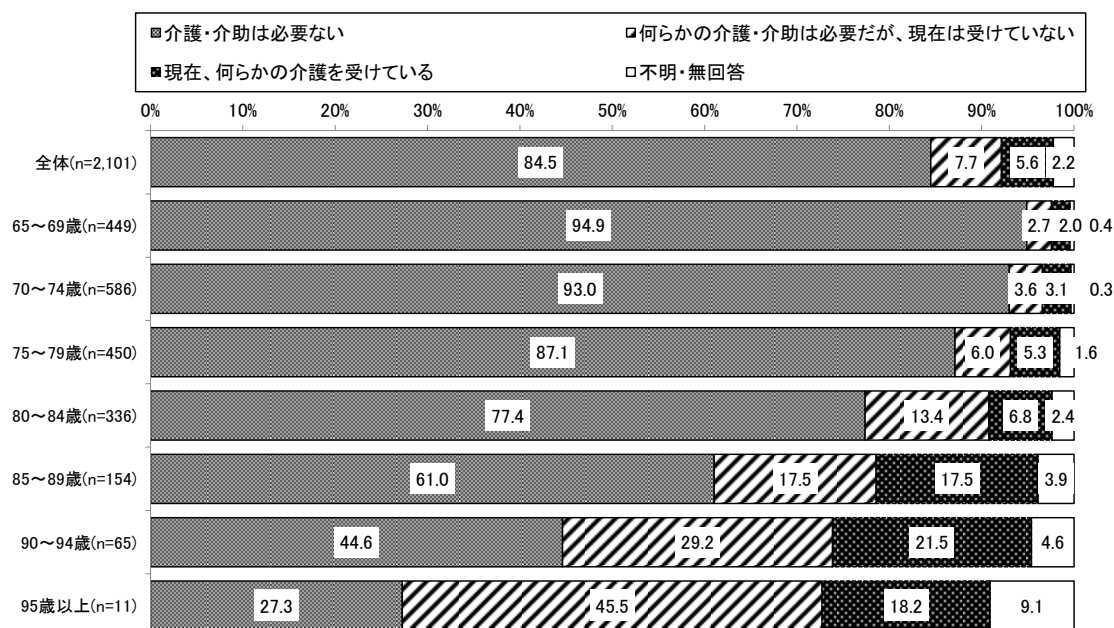
問1

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（ひとつだけ〇を）

全体では「介護・介助は必要ない」が84.5%で最も多く、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が7.7%、「現在、何らかの介護を受けている」が5.6%となっています。

年齢階級別にみると、85歳以上で「現在、何らかの介護を受けている」が2割前後と高くなっています。また、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が「90～94歳」で29.2%、「95歳以上」で45.5%と高くなっています。

■介護・介助の必要 - 【全体】・【年齢階級別】



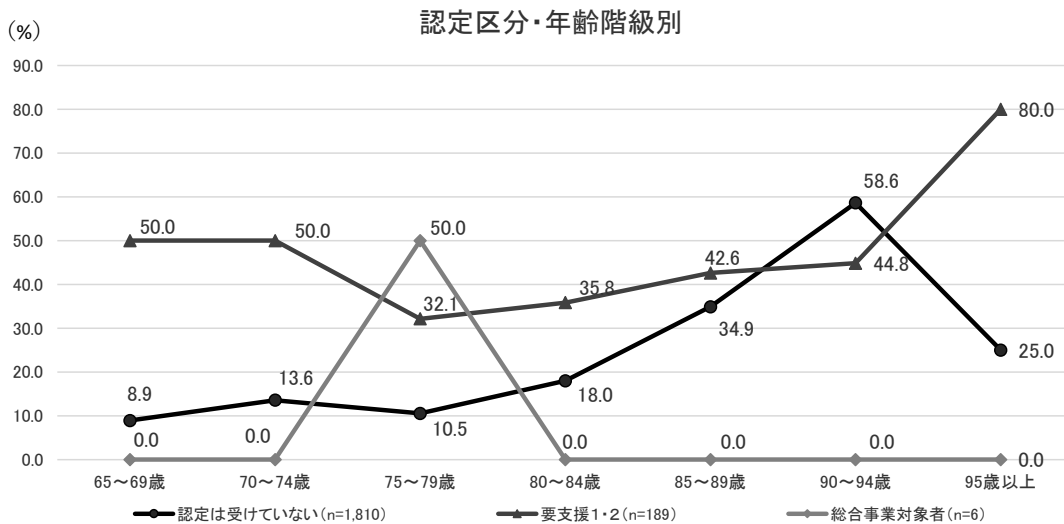
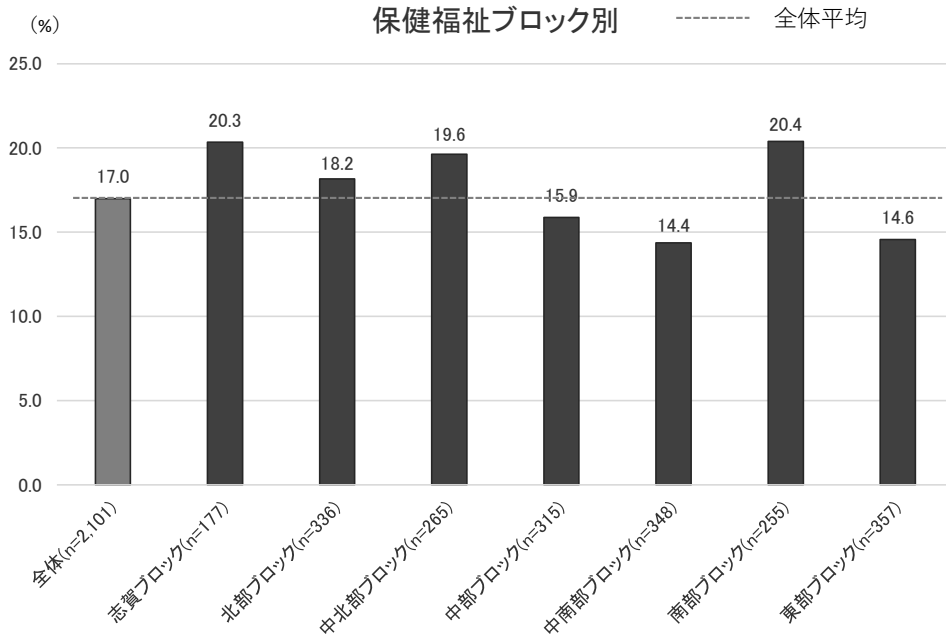
(3) 閉じこもり傾向

閉じこもり傾向を問う設問による評価結果をみると、全体で17.0%が「閉じこもり傾向のある高齢者」となっています。

保健福祉ブロック別にみると、「南部ブロック」、「志賀ブロック」で該当者割合がやや高く、「中南部ブロック」、「東部ブロック」で該当者割合がやや低くなっています。

認定区分・年齢階級別にみると、概ね「一般高齢者」より「要支援1・2」の方が高く、「一般高齢者」では特に85歳以上で大きく増加しています。

◆閉じこもり傾向のある高齢者割合



評価方法

下記の項目について該当する場合、「閉じこもり傾向のある高齢者」として判定しました。

設問番号	設問
問2-(6)	週に1回以上は外出していますか(該当:ほとんど外出しない、又は週1回)